

# DXとは

山中誠二

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、  
データとデジタル技術を活用して、  
顧客や社会のニーズを基に、  
製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、  
業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、  
競争上の優位性を確立すること。

出典) 経済産業省「DX推進指標(サマリー)」

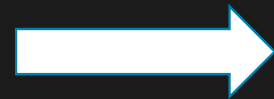
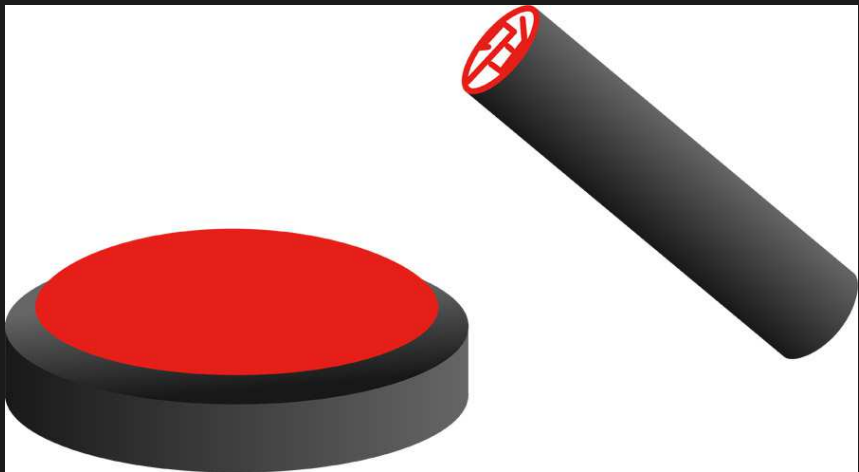
経済産業省の定義は、長くて、具体的でないので良く分からない

# デジタイゼーションと デジタライゼーションの違いは？

DXを分解して見ると分かりやすいかもしれない

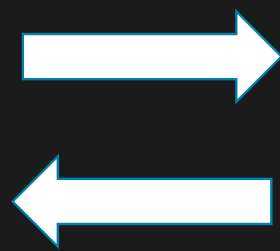
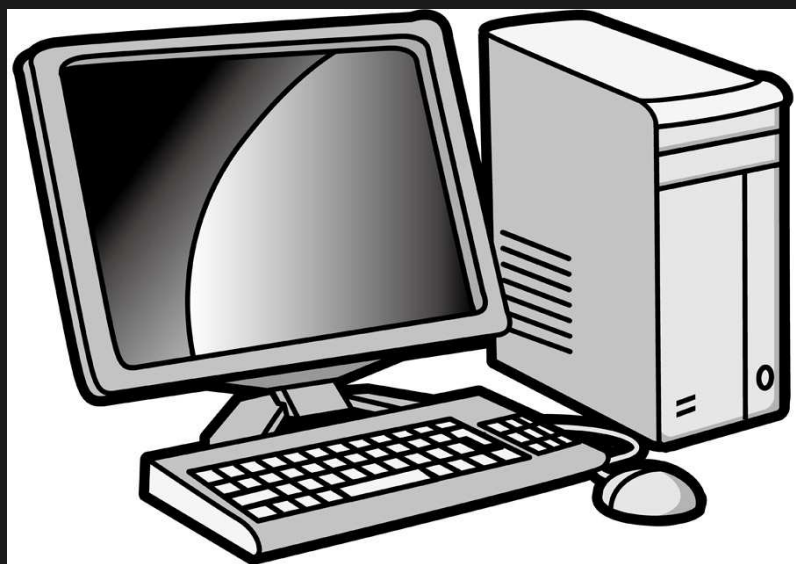
# デジタイゼーション

- 物理的なモノやアナログの情報がデジタルデータで表現される



# デジタルイゼーション

- デジタルイゼーションを通じて、業務のやり方や取引の形態が変わる
- ワークフローによる電子契約や企業間での電子契約



# DX/デジタイゼーション/デジタルイゼーション

- 企業がDXの具体的なアクションを設計できるように、DXを3つの異なる段階に分解する
- これらは必ずしも下から順に実施を検討するものではない

DX推進指標における  
“DXの定義”はこの範囲

## デジタルトランスフォーメーション

(Digital Transformation)

組織横断/全体の業務・製造プロセスのデジタル化、  
“顧客起点の価値創出”のための事業やビジネスモデルの変革

## デジタルイゼーション

(Digitalization)

個別の業務・製造プロセスのデジタル化

## デジタイゼーション

(Digitization)

アナログ・物理データのデジタルデータ化

# DX/デジタイゼーション/デジタライゼーション

|                | 未着手                 | デジタイゼーション                  | デジタライゼーション      | デジタルトランスフォーメーション             |
|----------------|---------------------|----------------------------|-----------------|------------------------------|
| ビジネスモデルのデジタル化  |                     |                            |                 | ビジネスモデルのデジタル化                |
| 製品/サービスのデジタル化  | 非デジタル製品/サービス        | デジタル製品                     | 製品へのデジタルサービス付加  | 製品を基礎とするデジタルサービス<br>デジタルサービス |
| 業務のデジタル化       | 紙ベース・人手作業           | 業務/製造プロセスの電子化              | 業務/製造プロセスのデジタル化 | 顧客とのE2Eでのデジタル化               |
| プラットフォームのデジタル化 | システムなし              | 従来型ITプラットフォームの整備           |                 | デジタルプラットフォームの整備              |
| DXを進める体制の整備    | ジョブ型人事制度<br>リカレント教育 | CIO/CDXOの強化<br>リモートワーク環境整備 | 内製化             |                              |

参照：経済産業省デジタル産業の創出に向けた研究会



# デジタイゼーションをしてみる（デジタルファースト）

## ペーパーレス化

- ファイル・棚が不要
- 探す時間を短縮
- 在宅勤務で不便を感じない
- 資料を再利用可

## FAX→メール

- ペーパーレス化
- 転記不要
- 社内配布不要

## 捺印→電子印鑑

- 出社不要
- 慣例（必要な業務が見直し）



# デジタルイゼーションでは

## ワークフロー

- 承認フロー自動化
- 電子捺印
- 在宅勤務可
- 資料回覧不要

## 電子調達

- 電子内で完結
- 受託
- 値決め
- 納品書出力
- 納品受入

## AI承認

- 捺印（承認）の判断基準をAIに教育
- 無人化・省人化

# デジタルトランスフォーメーションでは

## Eラーニング

- 社員教育の教材をコンテンツ化して、eラーニングをサービス（販売）する

## RFIDによるトレサビ

- 製品に製造情報を入れたRFIDを付加し、リコール・不具合が発生した際に遡って追跡可能

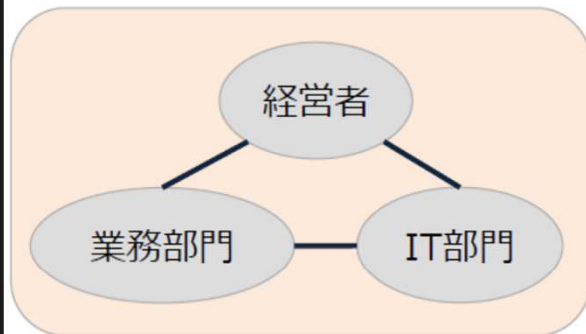
## リモートショッピング

- スマホ（タブレット）を使い、店舗商品の閲覧、動画接客、購入が自宅で可能

# DX成功のパターン

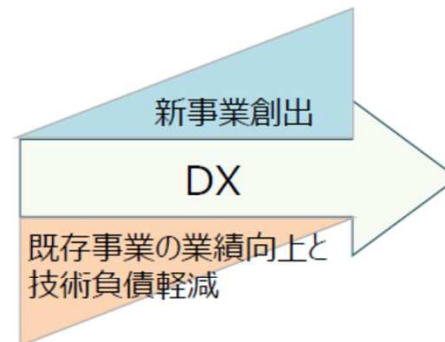
- DX成功パターンには、DXに向けた**戦略の立案・展開にあたって前提となる、「組織戦略」、「事業戦略」、「推進戦略」**が含まれる

## <組織戦略>



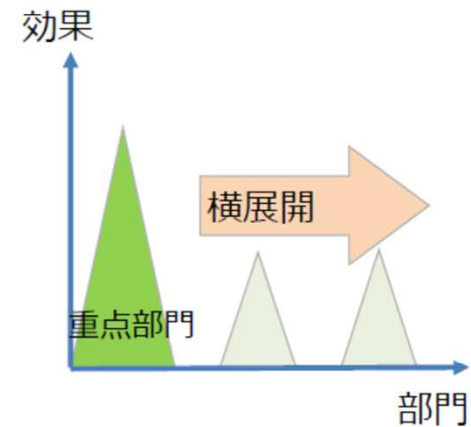
- ✓ 企業全体の方針を決めるにあたり、**経営者・IT部門・業務部門が対話し、共通認識を持っておく**

## <事業戦略>



- ✓ 既存事業の見直しにより生まれた投資余力を新事業の創出にあてる
- ✓ 両事業の投資バランスは、社内で予め決めておく

## <推進戦略>



- ✓ **アジャイル的なDX推進**により、段階ごとにスピード感を持ってDXを実施する

# デジタイゼーション 「点」として始まり、「線」となり、点を ハブとして線が繋がり、広く「面」となり、 デジタイゼーションは進む

自動運転は、自動車に搭載された技術という「点」と、通信技術、GPS情報、デジタル化された地図情報などの「点」が組み合わせることで「線」となり、「面」としての自動運転が実現する

# 結論

- まずは、デジタイゼーション（デジタル化） デジタルでないと次の段階に進まない
- 但し、全てのデータをデジタル化する必要はない、実現したいデジタルイゼーションを起点にして必要最低限のデジタル化を進める
- 現場を巻き込んで進める
- 既存領域で行う
- デジタルの力を借りて価値を生み出す
- やりきるのは、自分という意識を個々人が持つ